

第 394 回狛江市行財政改革推進本部会議会議録

- 1 日 時 令和 4 年 11 月 8 日（火）午後 3 時 24 分～3 時 32 分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 本部長 松原市長
副本部長 平林副市長
副本部長 柏原教育長
本部員 高橋企画財政部長
本部員 石橋総務部長
本部員 鈴木市民生活部長
本部員 片岡子ども家庭部長
本部員 門井環境部長
本部員 小俣都市建設部長
本部員 上田教育部長
事務局 富田政策室長
古内財政課長
- 4 欠席者 本部員 小川福祉保健部長
本部員 小川議会事務局長
- 5 議 題 狛江市中期財政計画（令和 4 年度ローリング版）（案）について

6 会議概要

本部長 それでは、「狛江市中期財政計画（令和 4 年度ローリング版）（案）について」説明をお願いします。

事務局 資料 1 ページ「1 中期財政計画改訂の目的」について、財政計画策定後の状況の変化を反映するため財政見通しの修正を行い、計画期間を延伸するとともに、計画期間最終年度の財政指標目標値を設定するものである。「2 計画期間等」について、計画期間は 1 年延伸し、令和 5 年度から令和 7 年度までとする。2 ページ「3 財政規律（基準）と令和 3 年度の結果」について、令和 3 年度の取組結果としては、設定した 3 つの財政規律、基準に基づいた財政運営を行うことができている。6 ページ「4 基金の考え方（残高目標額等）」について、（1）財政調整基金は令和 3 年度決算にて、目標額の 20 億円を達成した。今回、目標額は改めていないが、近年の取崩状況や突発的な財政需要にも対応できるよう、他の基金とのバランスを見つつ、常に、20 億円を確保できるように努めるものとしている。（3）公共施設整備基金と、（4）公共施設修繕基金の積立目標額は、財務書類の建物原価償却累計額の 10%程度としており、令和 2 年度で約 196 億円となったため、ともに 1 億円増の 20 億円としている。その他の基金の目標額に変更はない。8 ページ「5 財政指標目標値（令和 7 年度決算）と進捗状況」について、令和 3 年度の進捗状況は、設定した 3 つの目標値、全てを達成している。令和 7 年度の目標値については、経常収支比率は現状と同様 90%以下、26 市中 10 位、実質公債費比率は、0.2 ポイント減の 1.3%以下、将来負担比率は、現状以下の-4.5%以下としている。11 ページ「6 中期財政見通し（令和 5 年度～令和 7 年度）」について、令和 3 年度決算及び令和 4 年度の第 3 号補正予算後の予算額に令和 3 年度からの繰越額を合算した額をベースとして、推計条件のもと、令和 5 年度から令和 7 年度までの財政フレームを作成し、12 ページに財政フレー

ムの見通しを記載している。歳入について、市税は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大当初の落ち込みからは回復し、微増としているが、原油価格の高騰や原材料・資材価格の上昇等により、景気の不透明感が増している状況である。総務省の概算要求、地方財政収支の仮試算及び骨太の方針で、地方の一般財源総額の確保が示され、国税収入が過去最大となっていること等から、財源構造が改善し、地方交付税を維持しつつ、臨時財政対策債の発行可能額は逡減としている。歳出は、扶助費及び繰出金が高齢化の進展等により増加するとともに、投資的経費が小中学校、市民センター、新図書館の整備等により大幅増、その他に入っている物件費は物価の高騰等により増となっている。歳入歳出差引額については、令和5年度は、1億9,100万円程度の財源不足となり、令和7年度までの3年間で、累計8億4,900万円程度の財源不足となる見込みであることから、歳入の確保と歳出の抑制を図るとともに、予算編成の中で精査をしていく必要がある。13ページ「基金及び市債の推移」について、投資的経費の増加により、基金残高は減少していくものの、市債残高も減少していく見込みとなっている。これは、臨時財政対策債の発行可能額が大きく減額していく見込みのため、市債全体として減っているものであり、内数である事業債残高は増える見込みとなっているため、事業とのバランスを見ていく必要がある。

本件について意見等があれば11月10日正午までに、財政課へ連絡をお願いする。その後、調整の上、次回の行財政改革推進本部会議にて、承認いただきたい。

本部長 質問・意見等なければ、内容について、各部署で確認することとし、他になければ、第394回粕江市行財政改革推進本部会議を終了する。